



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
~笑顔で いきき 自分から~

平成29年12月1日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.9

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

葉っぱのフレディに思う

今年の秋は、あまり鮮やかな紅葉を見ることなく終わってしまったような気がします。今、校庭のイチョウの木だけは、スポットライトが当たっているかのように、紅葉の真っ盛りです。澄み切った青空に葉の黄色が映えています。



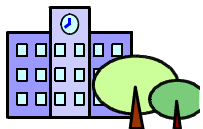
11月には校内授業研究会や人権月間、合同音楽会、堀川ゴボウの収穫、就学時検診など、学校行事や取組が充実の時を迎えました。エンジン全開で走るその一方で、落ち葉を見ながら、ふと「葉っぱのフレディ」のお話を思い出しました。

レオ・バスカーリア作「葉っぱのフレディ ーいのちの旅ー」は、春に生まれた葉っぱのフレディが、自分という存在に気付き、成長し、「葉っぱに生まれてよかったな。」と思い、「葉っぱの仕事」を終えるまでの物語です。そこには、死を怖がるフレディに親友のダニエルが答える場面があります。「変化するって自然なことなんだ。ぼくたちも変化し続けているんだ。死ぬということも変わることの一つなのだよ。」と。やがてフレディも枝を離れ、地面に降りた時、初めて自分の命を作った木の全体の姿を見て、そこに永遠の命を感じます。そして、フレディ自身は分からなくても、やがて土に返り、木を育てる大きな力になっていくのです。

登校する子どもたちは、みんな明るく元気に見えます。しかし、心の中に悲しい思いやいやな思いを感じている子どもがいるかもしれません。そして、その子は成長しても心の傷が癒されず苦しむことがあるかもしれません。学校では、そのようなことが絶対に無いように、また、子どもたち一人一人が毎日楽しく気持ちよく生活することができるように、常に子どもたちの様子に注意を払い、毎日が充実するよう努力しています。

今後、大きくなった子どもたちが、「生きるってどういうことだろう。」と自分に問い、人生を考えるようになった時、自然から永遠の命を感じるとともに、命の大切さや重みも感じ、「僕に生まれてきてよかったな。」と実感してほしいと願わずにはいられません。

今を生きるフレディたちが、ずっと幸せでありますように。



小中一貫で子どもを育てる・⑧

舞鶴市小学校合同音楽会

11月17日（金）に、舞鶴市総合文化会館で舞鶴市小学校合同音楽会があり、本校の5・6年生は、由良川小学校の5・6年生と一緒に「tomorrow」「大切なもの」の2曲の歌を披露しました。

子どもたちは、指揮者と心がぴったり合っていて、真剣な表情の中にも歌を楽しみ、聞いている人にその思いを伝えたいという気持ちが表れていました。今まで、加佐中学校の文化祭に出演したり、由良川小学校の子どもたちと一緒に歌の練習をしたりして、歌の表現力をレベルアップしてきました。この日のステージは、その成果が立派に表れた発表でした。



来年は、今の5年生が4年生をリードして、岡田の伝統を引き継ぐことを願っています。

校長 羽賀 玲子 教職員一同

